

平成24年度 事業計画

I 事業活動方針

- 1) 一昨年に発生した口蹄疫被害からの更なる復興が喫緊の課題となっている中、昨年3月11日に発生し、多くの尊い命が奪われた未曾有の東日本大震災とそれに続く原発事故は、本県観光業界にとっても大きな影響を与えました。特に、国際定期便が就航している韓国・台湾からの観光客が、震災後、著しく落ち込み、現在は、持ち直しつつあるものの、依然厳しい状況が続いております。

また、期待された九州新幹線全線開通についても鹿児島・熊本県のような大きな効果は見られていませんが、2年目は広がりも期待できることから更なるPRが必要となっています。

このような本県観光の危機的状況を乗り切るために、官民一体となって、本県ならではの魅力や強みを磨き、県民一人ひとりの力を結集して、県民総力戦で観光復興への動きを高めて行く必要があります。
- 2) 国内対策については、平成24年が古事記編さん1300年の記念すべき年であることから、既存の観光素材に加え、神話・伝説・スピリチュアルという本県独自の要素を積極的に活用し、神話に関係する他県とも連携しながら、「日本のふるさと宮崎キャンペーン」に積極的に取り組みます。
- 3) 「東京ガールズコレクション」とのタイアップ等により知名度が高まってきている「宮崎恋旅プロジェクト」は、元々神話スポット巡りであり、本年度は古事記編さん1300年事業と連動して、本県のイメージアップに努めます。
- 4) キャリア・エージェントとタイアップし、観光素材のブラッシュアップや陸海空の交通網を利用した新周遊ルートの開発など、これまでの取組みをさらに強化、推進し、宮崎県の観光の魅力を創出します。

新幹線対策については、新幹線停車駅のある熊本県や鹿児島県と引き続き連携し、南九州エリアとしてのPRを行うとともにJR九州及びJR西日本とも連携を図り、県外、特に関西・中国地方からの誘客に取り組みます。
- 5) 国外対策については、定期便が就航している韓国・台湾対策を重点的に進めるとともに、今後大幅な観光客の増加が期待できる中国についても積極的に取り組み、各国の実情や顧客特性に合わせた誘客や商品開発など、一層効果的な施策を展開します。
- 6) コンベンション誘致については、県内各種団体や大学等に宮崎開催を働きかけるとともに、平成21年度から福岡で実施している学術会議誘致懇談会に加え、学術学会の本部が集中している東京においても誘致懇談会を開催するなど、景気等に左右されない学術会議の誘致に積極的に取り組みます。
- 7) スポーツランドみやぎきの推進については、キャンプ誘致の三つの命題である「全県化」、「多種目化」、「通年化」に、県や市町村と連携して積極的に取り組むとともに、県内スポーツ団体等と連携して、全国大会・西日本大会等の開催誘致に取り組みます。

さらに、サーフィンをはじめとするマリンスポーツを活用した「波旅宮崎」の展開を図ります。
- 8) 本年度は、公益財団法人移行初年度に当たることから、当協会の設立目的が、「観光等の振興を図り、地域経済の活性化、文化の向上及び国際交流の促進に寄与する」ことであることを改めて強く認識し、目的達成に尽力します。

I 公益目的事業 1

1 観光の推進について

観光の推進については、県・市町村・観光関係団体等のもとより、九州観光推進機構や観光庁とも密接に連携し、国内外からの観光客誘致に向けた効果的な宣伝・誘致活動を展開します。

(1) 国内対策

ア) 平成20年度にスタートした「日本のふるさと宮崎キャンペーン」については、これまでの実績成果を踏まえ、キャリア・エージェントと連携しながら、神話やスピリチュアル、豊かな食材等宮崎ならではの観光資源を活かした誘客キャンペーンを展開し、宮崎ブランドの確立に取り組みます。

特に、平成24年は、古事記編さん1300年に当たり、「日本神話」への注目が高まっており、それを記念するシンポジウム、イベントの開催や神話にゆかりのある地を訪ねる旅、神話に深い関係のある他県との連携等により、誘客に取り組んでいきます。

イ) 口蹄疫の被害を受けた観光関連産業の復興を支援するため、航空会社とタイアップした誘客キャンペーンを実施します。

特に、長期休暇を取得する計画を持った消費者に対して、本県での体験プログラム等を組み込んだロングステイの旅行商品を造成する旅行会社等への支援や「100万泊県民運動」の推進に資する旅行商品の造成支援に取り組みます。

ウ) 平成21年度にスタートした県内の縁結びスポットを紹介する「宮崎恋旅」キャンペーンは、メディア等でも多く取り上げられるようになりました。

特に平成23年度には、「東京ガールズコレクションINみやざき」の開催や企業等とタイアップした旅行商品の造成等により好評を得ています。本年度も継続し、古事記編さん1300年事業と連動して恋旅ブームの創出や定番化を図ります。

エ) 九州新幹線のダイヤ改正により、関西から九州への直行便が大幅に増えるなど便利になり、あわせて新八代駅の停車便も増えたことから、県外、特に関西・中国地方においてイベント等による観光PRを実施するとともに、「B&Sみやざき」を中心とした宮崎への誘客を促進します。

オ) テレビ、新聞、旅行雑誌、タウン誌等のメディア及びインターネットを駆使して、観光PRを展開するとともに、宮崎県県外事務所と連携して、都市圏での観光PRを推進します。

また、本県を舞台にした映画が来年公開されるので、そのPR支援に取り組み、本県への誘客を促進します。

カ) 教育旅行については、市町村、民間団体との連携のもと、本県の地域資源を生かしながら、学校教育で求められている自然・環境・文化などの体験要素に対応した体験メニューの造成を図り、本県への誘致を図ります。

また、そのメニューを体験していただくことが本県への理解につながることからタイムリーなキーマン招聘事業を実施します。

(2) 国外対策

ア) 韓国対策： 昨年度は、東日本大震災と原発事故の影響により、本県や九州への旅行マインドが著しく低下しました。現在は持ち直しつつあるものの観光客誘致について厳しい状況が続いていると認識しており、定期便を利用したトレッキング、ゴルフ、マリンスポーツ体験ツアーに加え、韓国で人気のあるオルレ^註やフィッシングツアー等、年間を通じた観光客の安定的な確保を図ります。

(注)「オルレ」とは、韓国済州島の言葉で「通りから家の門に通じる狭い路地」という意味。現在では済州島の魅力を再発見するために提案しているウォーキングコースの名称として韓国内で広く知られ、人気を集めている。

イ) 台湾対策： 韓国と同じく震災や原発事故の影響で、昨年度は、一時観光客数が著しく落ち込みましたが、現在は持ち直してきています。3月から定期便が就航する鹿児島県と連携しながら南九州として旅行会社に対してのセールスを行うとともに、ゴルフツアーやインセンティブツアー、教育旅行につながるキーパーソンの招聘及び台湾における認知度アップのための観光PR等を実施します。

ウ) 中国対策： 震災と原発事故で落ち込んだ日本への観光客数も、現在は持ち直してきており、さらに、本年は日中国交正常化40周年の年になるため、今後、セールスに一層力を入れます。特にゴルフを中心とした本県への旅行商品の造成や上海・鹿児島定期便を利用した観光客の誘客、大型クルーズ船の本県への寄港に取り組みます。

また、知名度向上に重点を置きながら、セールスプロモーションや招聘事業を積極的に展開します。

エ) 香港対策： 韓国、台湾に次いで観光客数が多い地域であり、引き続き宮崎に送客実績のある主要エージェントに対しての情報発信、セールス活動を行い、誘客増を図ります。

(3) その他

昨年12月にリニューアルした協会のホームページ「旬ナビ」の新テーマのコンテンツページ追加などによる更なる内容充実を図ります。また、平成22年度に整備した観光情報サイト「郷ナビ」とあわせて、関係市町村協会等の協力を得ながら、四季折々の観光情報をタイムリーに提供することによって、更なる観光情報の発信強化を図ります。

2 コンベンションの推進について

コンベンションの推進については、国際会議や全国規模の各種大会、企業ミーティング及びインセンティブツアーの誘致を図るため、魅力的なコンベンション及びインセンティブプログラムを提案して、積極的に誘致セールスを行います。また、県内の各関係機関とも連携しながら、効率的かつ効果的な誘致対策を講じます。

海外については、企業インセンティブツアー誘致を中心として、宮崎の良さをふんだんに紹介したDVDなどを活用し、積極的にセールスを展開していきます。

(1) コンベンション誘致

- ア) 県内の大学、各種団体に対して、各種開催支援や訪問による情報交換を通じ、全国大会等の誘致を働きかけていきます。
- イ) 東京、大阪、福岡などの大都市圏では、学会及び各種団体の本部・支部、大企業等に対し、宮崎県の県外事務所等と連携しながら誘致セールスを行います。
- ウ) 景気悪化で全国のコンベンション開催が縮小している中、国内で毎年安定的に開催されている学術会議を対象として、平成23年度に引き続き「学術会議等誘致推進懇談会」を福岡市で開催するとともに、学術学会の本部が集中している東京においても開催し、学会の宮崎開催誘致に向けた情報交換、助言及び支援を積極的に行うなど、学術会議等の誘致を図ります。
- エ) 海外については、韓国、台湾、中国などを中心として、九州地区のコンベンションビューローやJNTO、海外駐在員等と緊密に連携し、誘致セールスを実施していきます。
- オ) 定期航空路線が就航している韓国及び台湾については、アクセス良く来県できる長所を活かし、関係機関や大学等と連携しながら、インセンティブツアーや日韓台学術会議の誘致を図るため積極的にセールスを行います。

(2) コンベンション支援

- ア) 本県に多大な経済効果をもたらすコンベンション、イベント及びインセンティブツアーに対しては、開催支援補助金の効率的な運用のほか、主催者への情報提供やアドバイス、連絡調整、空港での出迎え、歓迎看板・郷土芸能・交通アクセスの支援など、おもてなし日本一にふさわしい、きめ細かな支援サービスを実施していきます。
- イ) 国際会議及び国際インセンティブツアーの受入においては、行政を含め、CIQ、航空会社、交通及びホテル等関係機関と連携し、安全かつ快適に宮崎入りをしていただけるよう支援体制の整備を図るなど、魅力ある国際コンベンションシティを目指します。

3 スポーツランドみやざきの推進について

激化する地域間の誘致競争に勝ち抜くため、受け入れ市町村との連携強化に取り組みます。また、スポーツ施設や宿泊施設、自然環境などを相互に組み合わせることで、スポーツキャンプの「全県化」「多種目化」「通年化」を目指し、さらなるプロ及びアマチュアのチームの誘致促進を図ります。

また、サーフィンをはじめとする様々なマリンスポーツの推進や、大会・イベント

による観光客誘致に取り組みます。

(1) スポーツイベント等開催促進

- ・ 県内外から多くの参加者が見込める各種スポーツ大会、ダンロップフェニックストーナメントなど県内で開催されるゴルフ公式戦、プロ野球ファーム交流戦、秋季教育リーグ「みやざきフェニックス・リーグ」、東アジアリトルシニア野球大会等の開催を支援します。

(2) スポーツランドみやざき誘致促進

- ア) 実業団・大学等の競技団体、合宿取扱エージェントを個別訪問するなど、的を絞ったきめ細かなPR・セールスを実施し、合宿実績あるチームの定着並びに新規チームの誘致を図ります。また、キーパーソンの招聘を行い、合宿等の誘致促進を図ります。
- イ) 県が実施した主なスポーツ競技種目における基礎情報、本県のスポーツ環境の実態、国際大会・国内大規模大会の開催に向けた施設環境等の調査結果を踏まえ、新たなスポーツ大会やキャンプ・合宿等の誘致に取り組みます。
- ウ) キャンプ中のチームに対する県産品の贈呈や、プロスポーツを受け入れている市町等が行う歓迎や観客サービスを支援するなど、より一層のキャンプ盛り上げ対策の強化を図ります。
- エ) プロスポーツキャンプ等への県外観光客誘致を促進するため、県外向け広報、ポスターやガイドマップ作成・配布などの観客サービス事業を展開します。
また、2012春季キャンプで実施した、ソーシャルメディア等を活用した誘客キャンペーンを秋季・春季キャンプシーズンでも実施して誘客を図ります。
- オ) 新規合宿獲得のため創設した合宿支援制度を活用して、キャンプ・合宿の通年化・多種目化を図ります。
- カ) 経済効果・PR効果が期待できる大規模スポーツイベントの開催やキャンプの誘致、支援して誘客を図ります。

(3) 波旅プロジェクト推進事業

昨年度スタートした「波旅宮崎」を推進するため、安心・安全確保の物品購入支援、マリンスポーツ体験の受入体制の整備支援事業及びホームページ等での情報発信の強化を図ります。

(4) 宮崎球援プロジェクト事業

日本プロ野球選手会と連携して、野球をテーマとしたPR事業・イベント等を実施して誘客を図ります。

II 公益目的事業2

観光みやざき振興基金事業について

本県観光振興に資する取組を支援し、観光みやざきのより一層の推進を図ります。

- ・ 市町村及び民間事業者等による広域的な地域で構成される協議会等に対し、広域的に取り組む観光振興の実施計画の策定及び当該計画に基づく事業の実施を支援します。

II 事業項目

1 公益目的事業1

(1) 「日本のふるさと宮崎」誘客促進事業『国内対策事業』[観光推進局]
46,834千円

- ①日本のふるさと宮崎キャンペーン開催費
- ②キャリア・エージェントタイアップ
- ③宮崎恋旅プロジェクト
- ④情報発信・知名度向上対策事業

(2) 「日本のふるさと宮崎」誘客促進事業『国外対策事業』[観光推進局]
28,581千円

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ①韓国対策事業 ②台湾対策事業 ③中国対策事業 ④香港対策事業 | <ul style="list-style-type: none"> ◇旅行商品企画造成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・セールスプロモーション（商談会含む） ・エージェント招聘事業 ・エージェント等広告支援事業 ◇知名度向上対策 <ul style="list-style-type: none"> ・新聞・雑誌・テレビ関係者招聘事業 ・マスメディア活用PR事業 ◇ウェルカム宮崎キャンペーン <ul style="list-style-type: none"> ・定期便活用送客支援 ・チャーター便運行支援 ・ゴルフ大会支援 |
|--|--|

- ⑤その他事業
・宣伝ツール作成等

(3) 口蹄疫復興財団みやざき観光再生事業 [観光推進局、コンベンション・スポーツランド推進局]
99,000千円

- | | |
|--------------------|----------|
| ①全国公開映画の支援 | 9,000千円 |
| ②教育旅行の誘致 | 5,000千円 |
| ③古事記編さん1300年記念誘客促進 | 30,000千円 |
| ④長期滞在型観光誘致の推進 | 5,000千円 |
| ⑤海外からの観光客増加対策 | 10,000千円 |
| ⑥コンベンション開催受入強化 | 10,000千円 |
| ⑦スポーツランドみやざき復興 | 10,000千円 |
| ⑧地域観光復興支援 | 20,000千円 |

(4) その他観光推進事業 [観光推進局]

5, 358千円

- ①観光カレンダー制作
- ②観光情報活動推進

(5) コンベンション誘致事業 [コンベンション・スポーツ・ツラント推進局]

9, 462千円

- ①コンベンション主催事務局及び地元関係団体、企業への個別訪問セールス
- ②海外企業インセンティブの誘致 (主催企業その他旅行業者)
- ③コンベンション誘致推進説明会の開催 (学術、各種団体)
 - ・学術会議等誘致推進懇談会 (東京、福岡)
 - ・他県コンベンション推進団体との合同説明会
- ④国内外のコンベンションキーパーソンの招聘
- ⑤コンベンション商談会への参加
 - ・国際ミーティング・エキスポ：東京
 - ・CIBTM見本市：北京
 - ・ソウルインセンティブマート：ソウルその他、国内外で開催されるコンベンション見本市・商談会
- ⑥コンベンション関係団体等との情報交換

(6) コンベンション開催支援事業 [コンベンション・スポーツ・ツラント推進局]

54, 526千円

- ①コンベンション開催支援補助金の交付
- ②歓迎看板、郷土芸能、交通アクセス等の支援
- ③観光パンフレット、飲食店マップ等の提供
- ④コンベンション関連施設・業者の紹介及び情報提供
- ⑤コンベンション開催やアフターコンベンションに関する相談、アドバイス
- ⑥その他、コンベンション主催者のニーズに応じた各種サービスの提供

(7) コンベンション関連広報・宣伝事業 [コンベンション・スポーツ・ツラント推進局]

3, 040千円

- ①インターネットによるコンベンション情報の発信
- ②各種PRパンフレット等の作成
- ③新聞・雑誌等によるPR
- ④CD-ROM等によるPR

(8) コンベンション関連調査・企画・開発事業 [コンベンション・スポーツランド推進局]

448千円

- ①コンベンション開催情報の収集
- ②コンベンション団体会議及び研修会への参加

(9) スポーツランドみやざき推進事業 [コンベンション・スポーツランド推進局]

37,433千円

- ①スポーツイベント開催育成支援補助金の交付、2大ゴルフ公式戦支援等
- ②プロ野球 ファーム交流戦・秋季教育リーグ開催支援
- ③スポーツ団体、エージェント等への誘致セールス、キーパーソン招聘
- ④プロキャンプ、アマチュアチームキャンプの支援
- ⑤プロスポーツキャンプ観客増への取り組み
- ⑥全国大会・西日本大会等の各種スポーツ大会の誘致
- ⑦波旅プロジェクトの推進

2 公益目的事業2 (観光みやざき振興基金事業)

63,229千円

広域連携事業